

数学

慶應義塾大学 商学部 1/1

<全体分析>

試験時間 70 分

解答問題数 4 題

解答形式

マーク式が中心だが、IとIIとIIIの一部が答のみ記入する空欄補充型。

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・**やや易化**・変化なし・やや難化・難化)

昨年と同様に、Iのみ小問集合。問題は易しいとはいえ、計算量は例年通り多め。

出題の特徴や昨年との変更点

昨年も易化したが、今年の出題は更に易化した。教科書の演習問題が解ければ十分対応可能。

その他トピックス

マーク式に混ざって空欄補充型が幾度か現れるが、答の組が何個あるかわからない場合が多い。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
I (i)	データの分析	数学 I	データの分散。	易
(ii)	指數・対数	数学 II	対数不等式。底の変換公式。	標準
	図形と方程式	数学 II	線形計画法。	
(iii)	数列	数学 B	シグマ公式。	やや易
(iv)	集合と論理	数学 I	必要十分条件の判定。2次不等式。	易
(v)	三角関数	数学 II	3倍角の公式。	標準
	複素数と方程式	数学 II	3次方程式。	
II	空間ベクトル	数学 C	空間内に正三角形を作る問題。2つのベクトルのなす角、平面の方程式、ベクトルの大きさ。	標準
III	整式の微分・積分	数学 II	3次関数のグラフの接線。定積分。絶対値付き関数の定積分。	標準
IV	確率	数学 A	数字が書かれたカードを何枚か引いて、差の値や差の絶対値に関する確率、期待値、条件付き確率。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

数学IIはどの分野からも出題されているので、苦手なところは残さないように学習したい。確率とベクトルも必須。教科書の演習問題を解くために使われる基本的な手順をひとつおり習得していれば必ず解ける問題がほとんどである。

内容は基本的とはいえるが計算量は多いので、70分で解くためには相当の計算力が必要になる。

記述問題はないので、答の数値を要領よく短い時間で求めるようにしたい。ただし、決して計算は慌ててはいけない。